

令和4年度 第2回

社会教育委員の会議

- 日 時 令和4年11月9日（水）
午後2時00分～
- 会 場 宇都宮市役所14A会議室
（宇都宮市役所14階）

宇都宮市教育委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

【協議事項】

- ・「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」素案について

資料1

3 そ の 他

- ・令和5年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいについて

資料2

4 閉 会

宇都宮市社会教育委員名簿

任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日

区分	No.	氏名	役職名等	備考
学校教育関係者	1	いざわ まさゆき 伊澤 雅幸	宇都宮南高等学校長（栃木県高等学校長会宇都宮支部）	
	2	なかむら たかゆき 中村 孝之	豊郷中学校長（宇都宮市中学校長会）	
	3	ひらの のりこ 平野 紀子	東小学校長（宇都宮市小学校長会）	
	4	いまい まきのり 今井 政範	宇都宮地区幼稚園連合会顧問（宇都宮地区幼稚園連合会）	
社会教育関係者	5	ながよし しゅん 永吉 準	公益社団法人宇都宮青年会議所理事長	
	6	こばやし すみえ 小林 純枝	宇都宮市スポーツ協会副会長	
	7	まつもと こうげん 松本 弘元	宇都宮市文化協会常任理事	
	8	いしづか まさる 石塚 勝	宇都宮市子ども会連合会会長	
	9	ふくだ ほるひさ 福田 治久	宇都宮市PTA連合会会長	
	10	おおもり みきお 大森 幹夫	宇都宮市地域まちづくり協議会副会長	
	11	こばやし つよし 小林 剛	宇都宮市青少年指導員会会長	
	12	ますぶち ようこ 増渕 洋子	上戸祭小学校放課後子ども教室コーディネーター	
家庭教育関係者	13	こいけ みさこ 小池 操子	家庭教育支援活動者	
	14	すずき ちあき 鈴木 千明	家庭教育支援活動者	
学識経験者	15	かわた たかし 河田 隆	宇都宮共和大学教授	委員長
	16	ささき かずたか 佐々木 一隆	宇都宮大学教授	
	17	まるやま じゅんいち 丸山 純一	文星芸術大学教授	
	18	ますぶち ゆきお 増渕 幸男	上智大学名誉教授	
	19	なるしま たかひろ 成島 隆裕	市議会議員	副委員長
	20	ごうま やすひさ 郷間 康久	市議会議員	

第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画（素案）【概要版】

第1章 計画について

○計画の必要性

社会環境の激しい変化に伴い、多岐にわたる課題が顕在化する中、市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、社会や地域の様々な場面で活躍する社会の実現に向けて、学びを通じた「人」づくりに取り組む本計画を策定する。

○地域教育について

「社会教育行政」が担う「成人教育」、「青少年教育」、「家庭教育支援」、「学校教育支援・連携」を「地域」を意識し、社会の要請（社会的課題、人材育成等）に応える教育

○計画の位置づけ

「第6次宇都宮市総合計画」の分野別計画であるとともに、「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の基本的な考え方や方向性を受ける本市社会教育行政の最も基本となる計画とする。

また、令和4年度に終了する「第2次宇都宮市読書活動推進計画」を包含した計画とする。

○計画期間

令和5年度～9年度までの5年間

第2章 地域教育の現状

1 地域教育を取り巻く状況

○社会情勢の変化

- ・人口減少、少子超高齢社会
- ・デジタル化、グローバル化
- ・産業構造、雇用形態の変化
- ・感染拡大に伴う生活様式の変化
- ・地域における人間関係の希薄化
- ・社会的包摂の推進

○国・県等の動向

- ・（子どもの読書）家庭での読書の習慣付け、図書館における情報化の推進
- ・（読書バリアフリー）アクセシブルな書籍・電子書籍等の普及・提供・拡充
- ・（中教審）社会教育施設の機能強化、デジタル社会への対応、社会教育人材の養成と活躍機会の拡充、多様な障害に対応した生涯学習の推進
- ・（県生涯学習推進計画）「自立」、「協働」、「創造」と生涯学習の基盤づくり

2 市民意識調査の結果（R3 調査）※前回調査は H28

- ・学習や活動をしている市民の割合は減少（H28:38.3% ⇒ R3:23.9%）
- ・家庭の教育力は、低下していると「思う」割合は減少（42.1%⇒30.4%）
「わからない」が増加（12.0%⇒19.4%）
- ・地域の教育力の状況についても、「わからない」が増加（30.1%⇒36.7%）
- ・読書に関して、最近1年間の読書の媒体は、「紙の本のみ」が減少（66.4%⇒48.7%）し、「紙と電子書籍」が増加（13.5%⇒24.7%）
- ・最近1年間で図書館や図書室を「利用した」人の割合は減少（38.7%⇒28.9%）し、「過去に利用した」人が増加（19.9%⇒31.2%）

第4章 地域教育推進の課題

1 個人の主体的な学習の推進

- ・新しいデジタル技術を活用した学習やつながりづくり等の検討が必要
- ・様々な困難を抱える人たちへの学習機会の充実、多様な分野が連携・協力した学習機会の創出
- ・市民ニーズを捉えながら、学習機会、図書サービス等の工夫や充実を図り、学ぶ意欲を引き出していくことが必要

2 地域全体が連携・協力した教育活動

- ・子育て家庭に対する学習機会の提供や、読み聞かせ等の重要性を伝える取組とともに、個別具体的にきめ細かい家庭教育支援の取組が必要
- ・コミュニティ・スクールの課題や必要性を精査しながら、各協議会の活動の充実を図ることが必要
- ・コロナ禍においても、地域の様々な主体が連携して子どもを育てる意識の高揚、活動の充実が必要

3 様々な場面で学んだ成果を生かした活動

- ・様々な分野で多様化・複雑化する課題の解決に向けて、指導者等の人材育成が必要
- ・再就職、転職等、求める能力を身につけることができるよう、高等教育機関や企業等と連携して高度な学習の場へつなぐ取組の充実が必要
- ・地域理解を促す取組や郷土愛を育む取組等により、地域を支える人材を育成していくことが必要

4 学習や活動を支え、促す、基盤づくり

- ・図書館における誰もが利用しやすいバリアフリー環境の整備や資料の充実、デジタル技術活用等、読書環境の充実が必要
- ・生涯学習センター等におけるデジタルへの対応や多言語表記など、誰もが利用しやすい環境整備が必要
- ・レファレンスサービス、学習相談など、学習課題を解決へと導く相談機能の認知度向上やサービスの充実を図ることが必要

第3章 計画の取組と評価

○第3次宇都宮市地域教育推進計画前期計画の評価

【基本目標1】

コロナをきっかけとして、Zoom等のICTを活用した新たな手法を取り入れ、学習機会の増加に努めたが、社会的に外出や活動の自粛があった中、「学習活動をしている市民の割合」は低下した。

<基本指標> 学習活動をしている市民の割合

(H28) 38.4% → (R3) 23.9%

【基本目標2】

コロナの影響は受けながらも、家庭教育支援に係る講座の実施や地域協議会による地域全体での教育活動に取り組んだが、「地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した児童生徒」は、コロナの感染拡大前の半数以下となった。

<基本指標> 地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した児童生徒数

(H28) 123千人 → (R3) 61千人

【基本目標3】

コロナの影響は受けながらも、企業やNPO、家庭教育支援活動者等と連携し、市民の学習機会の充実や指導者となる人材の育成に取り組んだが、「学習活動をしている市民の割合」は、コロナの感染拡大前の半数以下となった。

<基本指標> 学習活動をしている市民の割合

(H28) 38.4% → (R3) 23.9%

○第2次宇都宮市読書活動推進計画の評価

【基本目標I】【基本目標II】

夜間の図書館を活用した講座やイベント等でのbookリストの配布、貴重な資料のデジタル化、高校生による読書情報誌編集などにより、読書をしている人の割合は横ばいとなった。

<基本指標> 最近1年間で読書をしている人の割合

(H28) 81.9% → (R3) 78.2%

【基本目標III】【基本目標IV】

地域情報の積極的な収集・提供やレファレンス事例の公開などにより、レファレンスサービスの利用者満足度は向上した。

<基本指標> レファレンスサービスにおける利用者満足度

(H28) 60.3% → (R3) 70.0%

第5章 基本的な考え方

《基本理念》

『学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する』



基本目標

【基本目標1】

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます。

基本指標 主体的に学習活動に取り組んでいる市民の割合
(R3) 23.9% ⇒ (R9) 50.0%

【基本目標2】

地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます。

基本指標 地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者数および児童・生徒数
(R3) 81,171人 ⇒ (R9) 170,000人

【基本目標3】

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

基本指標 地域に貢献する活動に参加している市民の割合
(R3) 29.5% ⇒ (R9) 30.0%

【基本目標4】(新)

学習活動や学んだ成果を生かした活動に、持続的に取り組める学習環境が整っています。

基本指標 学習や活動をしたいが実現できていない市民の割合
(R3) - ⇒ (R9) 20.0%
※(参考値)活動したいが実現できていない市民の割合
R3: 25.1%

第6章 施策の展開 (【0】: 事業番号, 【新】: 新規事業, 【拡】: 拡充する事業, 再: 再掲)

【主な事業】

施策1 学習活動への意欲を高める取組の推進

重点事業	[1]生涯学習センター等における学習機会の充実 [2]【拡】デジタル技術を活用した学習, 読書機会の充実 (Zoomや動画配信, 電子図書など)
	・歴史や文化, 健康づくりなど, 教養を高める多様な学習機会の提供 (事業番号[3]~[5]) ・子どもの読書習慣の定着や, 若い世代の図書館利用を促す事業など, 読書活動の推進 (事業番号[6], [7])

施策2 社会性を高める学習の推進

重点事業	[8]コミュニケーション力向上学習の推進 (参加交流型学習の実施など)
	・情報ソフトの操作などをはじめ, 社会生活に必要な能力を高める学習機会の提供 (事業番号[9], [10]) ・子どもから大学生まで多世代が参加し交流する学習機会の提供 (事業番号[11]) ・職業体験, 自然体験など, 子どもへの体験活動の実施 (事業番号[12]) ・「宮っ子の誓い」の普及啓発などを通して人づくりの意識を高める事業の実施 (事業番号[13])

施策3 社会的課題に対応した取組の推進

重点事業	再[9]【新】情報教育の推進
	・うつのみやデジタルスクエア, 環境について学ぶ講座など, 社会の変化に応じた取組の推進 (事業番号[14], [15], [19], [20], [22]) ・障がいの有無や国籍, 家庭の事情などに関わらず誰もが学べる機会の提供 (事業番号[16], [17], [21]) ・他者を思いやる気持ちの醸成, 男女共同参画など, 人権意識を高める学習機会の提供 (事業番号[18])

施策4 家庭教育支援の充実

重点事業	[23]親学の推進 (保護者が集まる機会を捉えた講話の実施や情報誌の発行) [24]【新】家庭での読書習慣を育む取組の充実 (ブックリスト配布や読み聞かせの実施など)
	・定期的な研修会の開催等による地域で活動する家庭教育支援活動者の育成 (事業番号[25]) ・子育てに必要な知識等を得られる講座の実施や, 個々の家庭に訪問するなどアウトリーチ型の支援の実施 (事業番号[26], [27])

施策5 地域ぐるみによる教育活動の充実

重点事業	[28]魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実 (地域協議会の組織強化, 活動支援など)
	・子どもの家, 放課後子ども教室, 子育てサロンなど, 地域での子どもの健全育成, 子育て支援 (事業番号[29], [34]) ・地域における中学生の自主学習を支援する活動の推進 (事業番号[30]) ・授業に役立つ資料や情報の提供など, 学校図書館との連携の推進 (事業番号[31]) ・学校の授業等に地域の有識者等が協力する事業の実施 (事業番号[32], [33])

施策6 多様な主体による学習機会の提供

重点事業	[35]【拡】NPO・大学・企業等と連携した学習の推進 (専門技術, ノウハウ等を生かす連携の実施)
	・市PTA連合会や市子ども会連合会等との意見交換や共催事業の実施 (事業番号[36]) ・老人福祉センターや, みやシニア活動センターなどの様々な施設による講座等の開催 (事業番号[37], [38]) ・地域でスポーツに親しむ地域スポーツクラブの設立・運営の支援 (事業番号[39])

施策7 地域で活躍する人材の育成

重点事業	[40]【新】地域の教育活動の担い手の育成 (地域協議会や放課後子ども教室等における活動者の育成)
	・地域活動やNPO活動に携わる人材を育てる仕組みづくり, 若者のボランティア活動の促進 (事業番号[41], [43]) ・障がい者に関する音訳, 点訳などの奉仕員の育成, 読書に関わるボランティアの育成 (事業番号[42], [44]) ・地域における子どもの体験活動指導者や社会教育主事, 講座企画・運営ボランティアスタッフの育成 (事業番号[45]~[47])

施策8 郷土愛や地域理解を促進する取組の推進

重点事業	[48]【拡】地域学・宇都宮学講座等の充実 (郷土愛や地域理解を促す講座の実施)
	・地域課題に気づき, 学び, 活動する「学習と活動の循環」意識した講座の実施 (事業番号[49]) ・二十歳の節目に, 地域社会の一員としての自覚等を育む「二十歳を祝う成人のつどい」の実施 (事業番号[50]) ・地域資料の収集, 保存, 提供とともに, 貴重な資料のデジタル化等の実施 (事業番号[51]) ・うつのみやの歴史文化への興味関心を高める取組や, 伝統文化を学ぶ事業の推進 (事業番号[52], [53])

施策9 学習や活動を促進する環境づくり

重点事業	[54]【新】生涯学習センター施設, 図書館施設の利用促進 (貸館等の実施とともに, 利便性向上の検討) [55]【新】視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実 (バリアフリーな資料作成・収集・提供など)
	・地域性や利用者ニーズを考慮した生涯学習センター図書室等のサービスの充実 (事業番号[56]) ・文化祭など, 学習成果を発表する機会や場の充実, 施設の老朽化等への対応を含めた環境整備 (事業番号[57], [58])

施策10 学習活動を支える機能の充実

重点事業	[59]図書館レファレンスサービスの利用促進 (課題解決を支援するレファレンス機能の強化, 周知)
	・ビジネス活動を支援する資料や情報の収集・提供, ウェブでの様々な学習情報の提供 (事業番号[60], [61])

後期計画の特徴

本計画は、個人が、学びを通して他者とつながり、能力を高め、その成果を地域で生かすことで、個人および地域全体の成長、活性化を図るものであり、後期計画においては、特に以下の内容を事業全般で意識しながら、さらなる地域教育の推進に取り組む。

デジタルの活用
×
社会的包摂(※)

オンラインやデジタル機器の積極的な活用による現代社会に応じた学び, 交流を展開参加しやすさ, 利用しやすさによる障がい者や外国人など誰もが参加できる環境づくり

全国トップレベルの小中学生の読書量のさらなる向上をはじめ, 大人にも, 自ら学び, 能力を高める読書活動を推進
家庭, 地域, ビジネスなど, 様々な場面で生じる課題に対し, 必要な資料, 情報の提供等により解決を支援

読書活動の推進
×
課題解決の支援

大学・企業等との連携
×
人材育成

放送大学や市内の様々な大学, 企業等と連携し, 多様な講座を展開
専門的で高度な学習を生かしたスキルアップ・キャリアアップにより, 地域活動や就労等へとつなげる人材育成

※社会的包摂: 社会的に弱い立場にある人も含め, 誰もが社会に参画できるように社会的排除の構造と要因を克服する対応

第7章 計画の推進

○計画の進行管理

- ・「地域教育の推進に係る関係課長等会議」において, 本計画における取組の進捗状況の確認を行う。また, 進捗状況については, 学識経験者や学校教育, 社会教育関係者などで構成する「社会教育委員の会議」へ報告し, 意見を聴取する。
- ・計画の最終年度においては, 5年に1度実施する「市民意識調査」により, 市民の詳細な状況も踏まえ, 総合的な評価を行う。

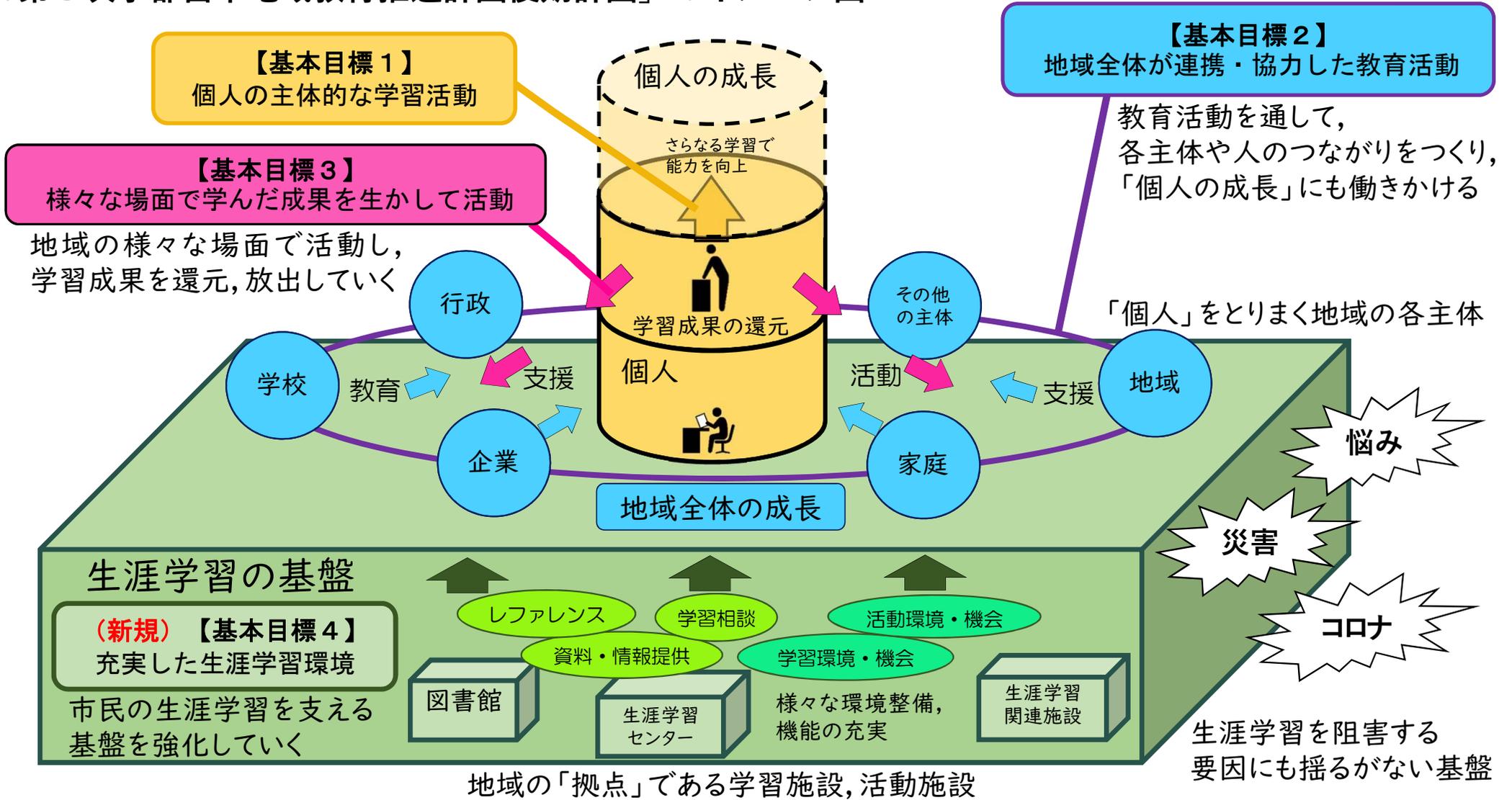
○社会情勢の変化等に対する対応

- ・計画期間中, 社会情勢の大きな変化に伴い, 計画の目標値と実施状況が著しく乖離する場合や, 早急に取り組むべき学習テーマが生じる場合は, 必要に応じて「地域教育の推進に係る関係課長等会議」および「社会教育委員の会議」において協議・検討を行い, 関係部局と調整しながら, 目標値の見直しや新たな事業の追加などを行う。

○計画の推進体制

- ・より良い地域社会の実現に向けた施策・事業を推進するため, 地域における各主体の特性を認識・尊重しながら積極的な連携・協働を図る。

「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」のイメージ図



第3次 宇都宮市地域教育推進計画後期計画

～うつのみや地域教育プラン～

(素案)

～地域で学び，地域で育て，地域をつくる，
地域ぐるみの学習・教育の推進～

令和5年2月

宇都宮市

宇都宮市教育委員会

目 次

第1章 計画について

- 1 計画策定の必要性
- 2 地域教育について
- 3 計画の位置付け
- 4 計画期間

第2章 地域教育の現状

- 1 地域教育を取り巻く状況
- 2 市民意識調査の結果

第3章 計画の取組と評価

- 1 第3次宇都宮市地域教育推進計画前期計画の評価
- 2 第2次宇都宮市読書活動推進計画の評価

第4章 地域教育推進の課題

第5章 基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 重点事業の考え方
- 4 計画の体系

第6章 施策の展開

- 基本目標1 施策1～施策3
- 基本目標2 施策4, 施策5
- 基本目標3 施策6～施策8
- 基本目標4 施策9, 施策10

第7章 計画の推進

- 1 計画の進行管理
- 2 社会的関心の高まりへの対応
- 3 生涯学習振興行政との関係
- 4 計画の推進体制

■ 資料編

- 1 計上事業一覧
- 2 事業・取組等調書
- 3 計画策定の経過
- 4 生涯学習・社会教育に関する市民意識調査結果（抜粋）
- 5 パブリックコメントによる市民からの意見

第5章 基本的な考え方

1 基本理念

市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、「今後の地域教育推進の課題」として抽出した課題を整理統合し、導き出された本計画の目指す姿を「基本理念」として以下の通り定めます。

『学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する。』

○ **学びを通して個人の人間力を高めます。**

「学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育む」は課題の「学びによる人間力の向上」に対応し、学びを通して、人々の交流を生み、他者と協働して社会を支えることができる人間力の高い人材を育成します。

○ **地域の教育活動や一人ひとりの活躍を地域ぐるみで支えます。**

「地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する」は課題の「地域・学校・家庭の連携協力」、「学習成果の活用の促進」に対応し、学んだ成果を生かして、大人も子どもも学び合う教育活動など、様々な場面で意欲的に活躍する人々を地域ぐるみで支えます。

○ **社会の変化に対応し強く生きる力を育みます。**

基本理念全体として、課題の「社会の変化に対応した取組」に対応し、めまぐるしく変化する社会に柔軟に対応しながら、人々が生きがいをもって暮らすことができる社会の実現を目指します。

2 基本目標

「基本理念」の実現に向け、課題を解決した状態を整理し、以降の通り「基本目標」として定めるとともに、「基本目標」ごとにその達成状況を数値で示すものとして、「基本指標」を設定します。

基本目標Ⅰ 一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます。

超高齢化やグローバル化の進行、ICTの劇的な進化など、社会環境の変化によって、求められる能力も変化していきます。こうした社会において、個人が生涯を通して生きがいを持って活躍していくためには、一人ひとりが積極的に学び続け、自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に取り組んでいくことが重要であることから主体的な学習活動を目標とします。

基本指標 **主体的に学習活動に取り組んでいる市民の割合**
23.9% (R3)  50.0% (R9)

基本目標Ⅱ 地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます。

地域における人と人とのつながりや連帯感、支えあいの意識が希薄化し、家庭・地域の教育力や地域コミュニティ機能の低下がますます進行することが懸念されています。このような中、地域社会が発展していくためには、個人の学習はもとより、個人が属する家庭をはじめ、地域で活動する各主体が連帯感を持ち、多様なつながりの中で地域コミュニティが活性化していくことが重要であることから、本計画では、地域全体で子どもを育む教育活動に取り組むことを通じて子どもも大人も交流し、学び合い、育ち合うことを目標とします。

基本指標 **地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者数および児童・生徒数**
81,171人 (R3)  170,000人 (R9)

基本目標Ⅲ 多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

社会環境がめまぐるしく変化し、人々の価値観やニーズも一層多様化していくことが考えられます。こうした社会において、地域課題の解決や地域社会の活性化などの取組を促進するためには、誰もが学びを通して身につけた知識や技術を生かし社会参画する「学習と活動の循環」が重要であることから、多様な主体と人々がつながることで社会参画のきっかけを作り、一人ひとりが学んだ成果を生かして様々な場面で活動することを目標とします。

基本指標 地域に貢献する活動に参加している市民の割合
29.5% (R3)  30.0% (R9)

基本目標Ⅳ 学習活動や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める学習環境が整っています。

社会の激しい変化は、多様で複雑な社会的課題を顕在化させるだけでなく、人々の生活環境の変化、活動などへの意識の変化も生じさせています。こうした中において、人々が学び、活動する意欲を高め、学習と活動の好循環を生み出していくためには、充実した学習・活動環境と、人々の抱える学習課題等への解決を支援し、支える仕組みが重要であることから、地域における学習や活動の拠点となる生涯学習センターや図書館など社会教育施設の環境や機能を充実させていくことを目標とします。

基本指標 学習や活動をしたいが実現できていない市民の割合
— (R3)  20.0% (R9)

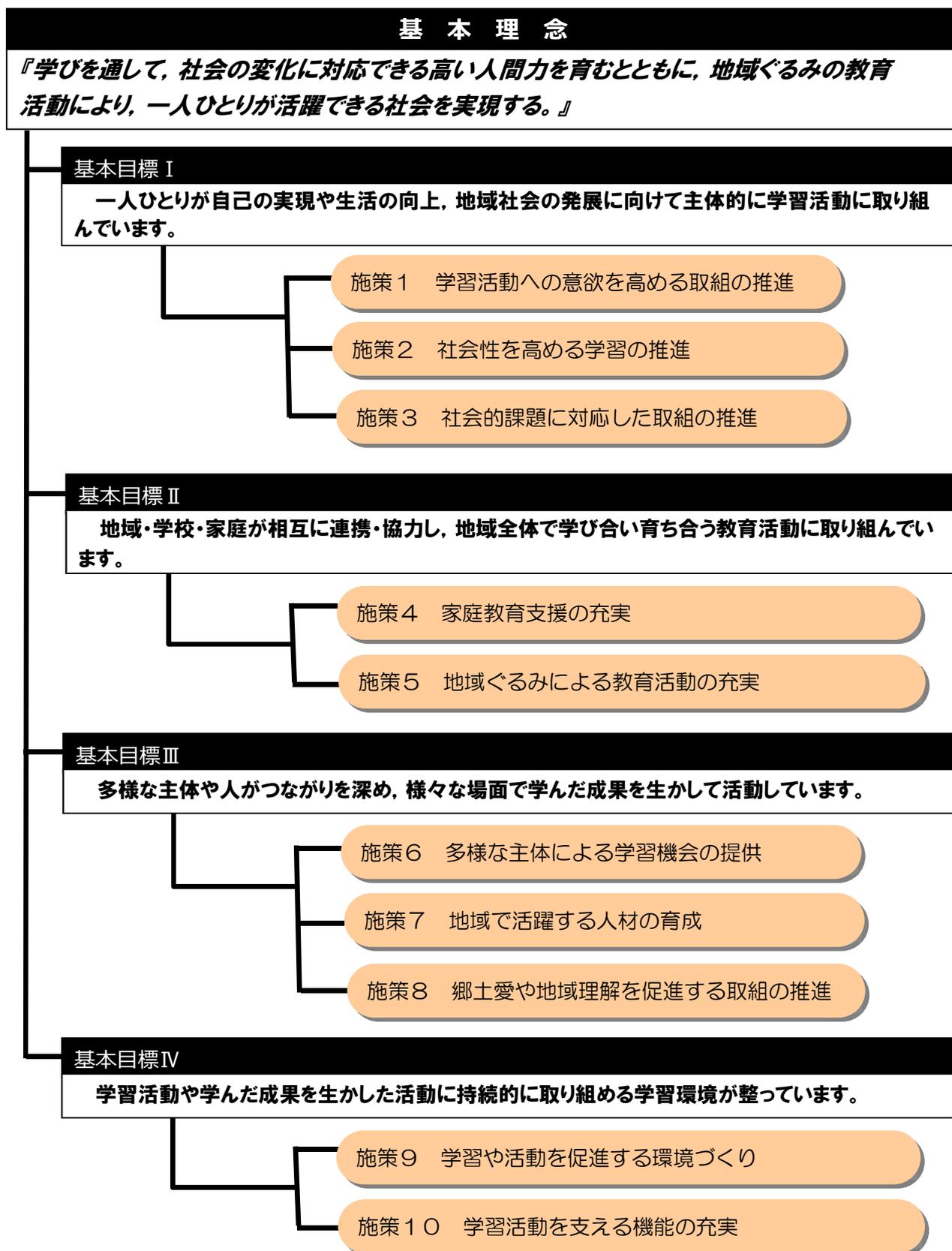
※活動したいが実現できていない市民の割合は(R3)25.1%

3 重点事業の考え方

計画に位置づける「事業・取組等」のうち、基本施策を代表する基幹的な事業や、基本施策の目標達成に特に効果が高いと考えられる事業を「重点事業」として位置づけます。

なお、「重点事業」には、本計画の目指す姿として掲げた「基本理念」に関連が深く、地域教育を推進する上で先導性の高い事業を位置づけるものとし、基本指標の達成に向け目標値を設定し、積極的に推進していきます。

4 計画の体系



第6章 施策の展開

基本理念や基本目標の実現に向け、今後取り組む施策・事業と、重点事業の目標値を設定します。

基本目標 1

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます。

施策 1 学習活動への意欲を高める取組の推進

地域社会を構成する市民一人ひとりの自己の実現や生活の向上を図るためには、まず個人が自ら積極的に学ぶことが重要です。市民意識調査の結果では、参加しやすい曜日・時間帯の講座の開催の要望が多く見られ、読書活動については、電子書籍により読んでいる人の割合が増加するなど、学習活動において、市民の参加しやすさ、利用のしやすさが求められています。

このため、市民ニーズに応じた講座の企画とともに、「対面」と「オンライン」による学びを組み合わせながら、多様な学習機会、読書機会の提供に取り組むなど、全ての市民の学ぶ意欲を高めるための事業を実施していきます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
1 重点	生涯学習センター等における学習機会の充実	生涯学習課(図書館)	
2 重点	デジタル技術を活用した学習、読書機会の充実	生涯学習課(図書館)	
3	健康づくりを支援する取組の充実	生涯学習課(図書館) 高齢福祉課	
4	宇都宮市民大学の充実	生涯学習課	
5	生活課題解決型講座の充実	生涯学習課(図書館)	
6	読書活動の充実	図書館	
7	子どもの読書活動の推進	図書館	

重点事業の目標値

事業番号 1 生涯学習センター等における学習機会の充実

指標名	2021(令和3)年度	2026(令和9)年度
生涯学習センター等における講座の受講者数	14,026人	30,000人

事業番号 2 デジタル技術を活用した学習、読書機会の充実

指標名	2021(令和3)年度	2026(令和9)年度
デジタル技術を活用し提供した学習機会	14回	40回

施策2 社会性を高める学習の推進

変化の激しい社会を生きていく上では、社会で求められる能力を主体的に認識し、身につけていくとともに、多様な人と協働しながら課題解決に取り組んでいくことができる力が必要となります。

そのため、社会生活で必要となる能力を身につけることができる講座や、他者とより良い人間関係を形成する力を身につけることができる学習を推進します。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
8 重点	コミュニケーション力向上学習の推進	生涯学習課	
9	情報教育の推進【新規】	生涯学習課 (視聴覚ライブラリー) SSC推進室 みんなでまちづくり課	
10	学び直しの支援	生涯学習課(図書館) 教育企画課	
11	大学生等の参加による多世代交流の推進	生涯学習課(図書館)	
12	子どもの体験活動・体験学習機会の充実	子ども未来課 生涯学習課(図書館)	
13	人づくり啓発事業の実施	教育企画課	

重点事業の目標値

事業番号8 コミュニケーション力向上学習の推進

指標名	2021(令和3)年度	2026(令和9)年度
参加交流型学習の実施回数	35回	60回

施策3 社会的課題に対応した取組の推進

社会環境が激しく変化し、地域社会の抱える課題も複雑化する中、よりよい社会を形成していくためには、市民一人ひとりが多様な課題について認識し、解決に向けて取り組む意識を高めていく必要があります。

このため、関係機関と連携しながら、社会環境の変化に合わせて顕在化する課題への理解を深め、対応策を学ぶことができるよう、社会的課題に対応した学習機会の充実に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
再掲 重点	情報教育の推進【新規】	生涯学習課 (視聴覚ライブラリー) SSC推進室 みんなでまちづくり課	
14	「うつのみやデジタルスクエア」の運営【新規】	SSC推進室	
15	環境学習の推進【新規】	環境政策課	
16	障がい者の文化・スポーツ講座事業の充実【新規】	障がい福祉課 生涯学習課	
再掲	学び直しの支援	生涯学習課(図書館) 教育企画課	
17	様々な困難を有する人への学習活動への支援	生涯学習課(図書館)	
18	人権教育の推進	生涯学習課 男女共同参画課	
19	超高齢社会に対応した学習の推進	生涯学習課(図書館) 高齢福祉課	
20	多文化共生に向けた教育の推進	生涯学習課(図書館) 国際交流プラザ	
21	外国人住民の生涯学習の推進	生涯学習課(図書館) 国際交流プラザ	
22	ワーク・ライフ・バランス ^{※10} の理解に向けた啓発事業の実施	男女共同参画課	

重点事業の目標値

事業番号9（再掲） 情報教育の推進

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
デジタル技術について学ぶ講座の受講者数	266人	600人

※10 仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できる状態

基本目標 2

地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます。

施策 4 家庭教育支援の充実

地域全体で取り組む教育活動の推進においては、子どもの教育の出発点となる家庭での教育が重要ですが、市民意識調査の結果では、3割を超える市民が「家庭の教育力が低下している」と感じており、家庭の教育力向上に向けた取組が求められています。

これまでの親同士の交流促進などに取り組む家庭教育支援とともに、読み聞かせなど家庭での読書機会の創出を促す取組や、関係機関が連携し個別具体的に家庭にアプローチしていく家庭教育支援などに取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
23 重点	「親学」の推進	生涯学習課	
24 重点	家庭での読書習慣を育む取組の充実【新規】	図書館	
25	家庭教育支援活動者の育成	生涯学習課	
26	アウトリーチ型家庭教育支援の推進	生涯学習課 子ども家庭課	
27	家庭教育支援講座の充実	生涯学習課(図書館)	

重点事業の目標値

事業番号 23 「親学」の推進

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
親学出前講座の実施件数	45件	120件

重点事業の目標値

事業番号 24 家庭での読書習慣を育む取組の充実【新規】

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
乳幼児対象事業への参加者数	302人	2,700人

施策5 地域ぐるみの教育活動の充実

地域・学校・家庭が連携・協力した教育活動に取り組んでいくためには、地域の学び舎である学校を中心として、地域全体が一体となって進めていく必要があります。

地域の教育力を活かして学校を支援することで、学校における子どもの教育環境が充実するとともに、活動を通してさらなる地域の教育力向上や、活動の拡大につながっていくことが期待されることから、地域全体で連携・協働しながら子どもの成長を支える教育活動に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
28 重点	魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実	生涯学習課 学校教育課	
29	宮っ子ステーション事業の充実	生涯学習課	
30	地域における学習支援活動の推進	生涯学習課	
31	学校図書館と連携した読書環境の充実【新規】	図書館 学校教育課	
32	「地域未来会議」の推進【新規】	学校教育課	
33	「街の先生」活動事業の推進	学校教育課	
34	子育てサロンの推進	保育課	
再掲	人づくり啓発事業の充実	教育企画課	

重点事業の目標値

事業番号28 魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動数	19,121回	23,000回

基本目標 3

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

施策6 多様な主体による学習機会の提供

学びを通して人々がつながりを深め、様々な場面での活動を促進するためには、学んだ人と多様な活動主体がつながるきっかけ作りや、社会教育関係団体等の活性化などを図ることが重要です。

そのため、全ての学んだ人材が学習成果を生かす機会にめぐり合えるよう、多様な主体と連携した学習機会の提供や、各主体の活動につなぐ仕組みづくりの促進に向けた事業に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
35 重点	NPO・大学・企業等と連携した学習の推進	生涯学習課(図書館)	
36	社会教育関係団体との連携	生涯学習課(図書館)	
再掲	環境学習の推進【新規】	環境政策課	
37	高齢者の生きがいがづくりの推進	高齢福祉課 生涯学習課	
38	みやシニア活動センター事業の実施	高齢福祉課	
39	地域スポーツクラブの育成支援	スポーツ振興課	

重点事業の目標値

事業番号35 NPO・大学・企業等と連携した学習の推進

指標名	2021(令和3)年度	2026(令和9)年度
企業等と連携した講座開催数	46講座	60講座

施策7 地域で活躍する人材の育成

社会環境が激しく変化し、地域においても様々な課題が顕在化している中、地域が持続的に発展していくためには、市民一人ひとりが、それぞれの持つ特性や培った能力を地域の様々な場面で生かし、活躍していくことが重要です。

市民がそれぞれの能力を生かして活動することは、地域の発展に結びつくだけでなく、自己の気づきや新たな学びへとつながり、個人のさらなる成長にも寄与していくものであることから、地域の様々な場面で活躍していくことができる人材の育成に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
40 重点	地域の教育活動の担い手の育成【新規】	生涯学習課	
41	まちづくりに携わる人材の育成【新規】	生涯学習課 みんなでまちづくり課 SSC推進室	
42	読書活動を支援するボランティアの育成【新規】	図書館	
43	若者ボランティア認定制度【新規】	みんなでまちづくり課	
44	障がい者の意思疎通を支援する人材の育成【新規】	障がい福祉課	
再掲	学び直しの支援	生涯学習課(図書館) 教育企画課	
再掲	家庭教育支援活動者の育成	生涯学習課	
45	子どもの体験活動指導者の育成	生涯学習課	
46	社会教育主事の養成・活躍促進	生涯学習課	
47	講座企画・運営ボランティアスタッフの育成	生涯学習課	

重点事業の目標値

事業番号40 地域の教育活動の担い手の育成

指標名	2021(令和3)年度	2026(令和9)年度
地域における学習支援活動や体験活動等に参加している活動者数	20,555人	23,000人

施策 8 郷土愛や地域理解を促進する取組の推進

学習活動やその成果を生かした地域社会への参画を促進するためには、まず、全ての市民が、自らの住む地域の歴史や文化、産業など、地域の特性を知り、地域に愛着と誇りを持つことが必要です。

そのため、地域貢献意欲の基盤となる、郷土愛や地域理解を促進する事業に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
48 重点	地域学・宇都宮学講座等の充実	生涯学習課(図書館) みんなでまちづくり課	
49	地域かがやきプロジェクト事業の推進	生涯学習課	
50	「二十歳を祝う成人のつどい」における地域交流事業の推進	生涯学習課	
51	地域資料の収集・提供事業の推進【新規】	図書館 視聴覚ライブラリー	
52	歴史文化資源周知啓発事業の推進	文化課	
53	うつのみや伝統（ふるさと）文化継承事業の推進	文化課	

重点事業の目標値

事業番号 48 地域学、宇都宮学講座等の充実

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
地域学、宇都宮学の受講者数	989人	1,200人

基本目標 4

学習活動や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める学習環境が整っています。

施策 9 学習や活動を促進する環境づくり

人々が生涯にわたって学び、学んだ成果を生かして活動をする「学習と活動の循環」を促していくためには、身近な場所や自らの生活環境にあわせて取り組むことができる環境が必要です。

そのため、地域の学習や活動の拠点である生涯学習センターや図書館などの社会教育施設における多様な学習や活動の機会の創出や、資料や場の充実に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
54 重点	生涯学習センター施設、図書館施設の利用促進【新規】	生涯学習課(図書館)	
55 重点	視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実【新規】	図書館	
56	センター図書室等における図書サービスの充実【新規】	生涯学習課(図書館)	
57	学習成果を発表する機会の充実	生涯学習課(図書館)	
58	社会教育施設的环境整備の推進	生涯学習課(図書館)	
再掲	生涯学習センター等における学習機会の充実	生涯学習課(図書館)	
再掲	デジタル技術を活用した学習、読書機会の充実	生涯学習課(図書館)	

重点事業の目標値

事業番号 54 生涯学習センター、図書館の利用促進

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
生涯学習センター、図書館の利用者数	411,564人	600,000人

重点事業の目標値

事業番号 55 視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
アクセシブルな（視覚障がい者等が利用しやすい）資料数	15,439点	17,600点

施策10 学習活動を支える機能の充実

社会の変化に伴い、社会的課題だけでなく生活上の課題も多様で複雑になっている中、人々が豊かな人生を送るためには、継続して必要な知識や技術を学び、それらの課題の解決に取り組んでいく必要があります。

そのため、学習に関して必要とする資料や情報の提供、学習に関する課題解決を支援する事業など、人々の学習活動を支えていく事業に取り組みます。

事業番号	事業・取組等	担当課	資料編参照頁
59 重点	図書館レファレンスサービスの利用促進	図書館	
再掲	地域資料の収集・提供事業の推進【新規】	図書館 視聴覚ライブラリー	
60	ビジネス活動に必要な資料・情報の提供【新規】	図書館 産業政策課 商工振興課 農林生産流通課	
61	学習情報提供事業・学習相談事業の充実	生涯学習課(図書館)	
再掲	社会教育主事の養成・活躍促進	生涯学習課	

重点事業の目標値

事業番号59 図書館レファレンスサービスの利用促進

指標名	2021（令和3）年度	2026（令和9）年度
レファレンスサービスの満足度	95%	100%

第7章 計画の推進

本計画をより実効性のあるものとするため、行政内部の推進体制を整備するとともに、地域の住民や企業、各種団体などとの連携により、効果的に計画を推進していきます。

1 計画の進行管理

全庁をあげて地域教育を推進していくため、「地域教育の推進に係る関係課長等会議」において、本計画における取組の進捗状況の確認を行うとともに地域教育推進のための協議・検討を行っていきます。

また、進捗状況については、学識経験者や学校教育関係者、社会教育関係者などからなる「社会教育委員の会議」へ報告し、意見を聴取します。

計画の最終年度においては、5年に1度実施する「市民意識調査」により、市民の詳細な状況も踏まえ、総合的な評価を行います。

2 社会的関心の高まりへの対応

市民が心豊かに安心安全な市民生活を送るためには、激しく変化する社会環境の中で、必要性の高まっているテーマについて知識等を得ることが必要であり、社会教育行政としては社会的課題に即応した学習機会を提供していく役割があります。

そのため、「社会教育委員の会議」において、社会的に関心が高まっている学習テーマについての協議・検討を行うとともに、そのテーマを所管する関係部局との連携・協働により学習機会の提供に努めます。

3 計画の推進体制

本計画に位置づけられている施策・事業は、行政だけで実施できるものではなく、市民、学校、家庭、企業、市民団体などの様々な主体と協力しあいながら取り組むことが必要です。

こうしたことから、より良い地域社会の実現に向けた施策・事業を推進するため、地域における各主体の特性を認識・尊重しながら、積極的な連携・協働を図ります。

計上事業一覧

基本目標Ⅰ 一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます。

施策	重点	新規	番号	事業・取組等	所管課
1 主体的な学習活動への支援					
●			1	生涯学習センター等における学習機会の充実	生涯学習課(図書館)
●			2	デジタル技術を活用した学習, 読書機会の充実	生涯学習課(図書館)
			3	健康づくりを支援する取組の充実	生涯学習課(図書館) 高齢福祉課
			4	宇都宮市民大学の充実	生涯学習課
			5	生活課題解決型講座の充実	生涯学習課(図書館)
			6	読書活動の充実	図書館
			7	子どもの読書活動の推進	図書館
2 社会性を高める学習の推進					
●			8	コミュニケーション力向上学習の推進	生涯学習課
	●		9	情報教育の推進	生涯学習課(視聴覚L) SSC推進室 みんなでまちづくり課
			10	学び直しの支援	生涯学習課(図書館) 教育企画課
			11	大学生等の参加による多世代交流の推進	生涯学習課(図書館)
			12	子どもの体験活動・体験学習機会の充実	子ども未来課 生涯学習課(図書館)
			13	人づくり啓発事業の充実	教育企画課
3 社会的課題に対応した取組の推進					
●	●	再掲		情報教育の推進	生涯学習課(視聴覚L) SSC推進室 みんなでまちづくり課
	●		14	「うつつのみやデジタルスクエア」の運営	SSC推進室
	●		15	環境学習の推進	環境政策課
	●		16	障がい者の文化・スポーツ講座事業の充実	障がい福祉課 生涯学習課
		再掲		学び直しの支援	生涯学習課(図書館) 教育企画課
			17	様々な困難を有する人への学習活動への支援	生涯学習課(図書館)
			18	人権教育の推進	生涯学習課 男女共同参画課
			19	超高齢社会に対応した学習の推進	生涯学習課(図書館) 高齢福祉課
			20	多文化共生に向けた教育の推進	生涯学習課(図書館) 国際交流プラザ
			21	外国人住民の生涯学習の推進	生涯学習課(図書館) 国際交流プラザ
			22	ワークライフバランスの理解に向けた啓発事業の実施	男女共同参画課

基本目標Ⅱ 地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます。

施策	重点	新規	番号	事業・取組等	所管課
4 家庭教育支援の充実					
●			23	「親学」の推進	生涯学習課
●	●		24	家庭での読書習慣を育む取組の充実	図書館
			25	家庭教育支援活動者の育成	生涯学習課
			26	アウトリーチ型家庭教育支援の推進	生涯学習課 子ども家庭課
			27	家庭教育支援講座の充実	生涯学習課(図書館)
5 地域ぐるみによる教育活動の充実					
●			28	魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実	生涯学習課 学校教育課
			29	宮っ子ステーション事業の充実	生涯学習課
			30	地域における学習支援活動の推進	生涯学習課
	●		31	学校図書館と連携した読書環境の充実	図書館 学校教育課
	●		32	「地域未来会議」の推進	学校教育課
			33	「街の先生」活動事業の推進	学校教育課
			34	子育てサロンの推進	保育課
		再掲		人づくり啓発事業の充実	教育企画課

基本目標Ⅲ 多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

施策	重点	新規	番号	事業・取組等	所管課
6 多様な主体による学習機会の提供					
	●		35	NPO・大学・企業等と連携した学習の推進	生涯学習課(図書館)
			36	社会教育関係団体との連携	生涯学習課(図書館)
		●	再掲	環境学習の推進	環境政策課
			37	高齢者の生きがいがづくりの推進	高齢福祉課 生涯学習課
			38	みやシニア活動センター事業の実施	高齢福祉課
			39	地域スポーツクラブの育成・支援	スポーツ振興課
7 地域で活躍する人材の育成					
	●	●	40	地域の教育活動の担い手の育成	生涯学習課
		●	41	まちづくりに携わる人材の育成	生涯学習課 みんなでまちづくり課 SSC推進室
	●		42	読書活動を支援するボランティアの育成	図書館
	●		43	若者ボランティア認定制度	みんなでまちづくり課
	●		44	障がい者の意思疎通を支援する人材の育成	障がい福祉課
			再掲	学び直しの支援	生涯学習課(図書館) 教育企画課
			再掲	家庭教育支援活動者の育成	生涯学習課
			45	子どもの体験活動指導者の育成	生涯学習課
			46	社会教育主事の養成・活躍促進	生涯学習課
			47	講座企画・運営ボランティアスタッフの育成	生涯学習課
8 郷土愛や地域理解を促進する取組の推進					
	●		48	地域学・宇都宮学講座等の充実	生涯学習課(図書館) みんなでまちづくり課
			49	地域かがやきプロジェクト事業の推進	生涯学習課
			50	「二十歳を祝う成人のつどい」における地域交流事業の推進	生涯学習課
		●	51	地域資料の収集・提供事業の推進	図書館 視聴覚ライブラリー
			52	歴史文化資源周知啓発事業の推進	文化課
			53	うつのみや伝統(ふるさと)文化継承事業の推進	文化課

基本目標Ⅳ 学習活動や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める学習環境が整っています

施策	重点	新規	番号	事業・取組等	所管課
9 学習や活動を促進する環境づくり					
	●	●	54	生涯学習センター施設、図書館施設の利用促進	生涯学習課(図書館)
	●	●	55	視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実	図書館
		●	56	センター図書室等における図書サービスの充実	生涯学習課(図書館)
			57	学習成果を発表する機会の充実	生涯学習課(図書館)
			58	社会教育施設の環境整備の推進	生涯学習課(図書館)
			再掲	生涯学習センター等における学習機会の充実	生涯学習課(図書館)
			再掲	デジタル技術を活用した学習、読書機会の充実	生涯学習課(図書館)
10 学習活動を支える機能の充実					
	●		59	図書館レファレンスサービスの利用促進	図書館
		●	再掲	地域資料の収集・提供事業の推進	図書館 視聴覚ライブラリー
		●	60	ビジネス活動に必要な資料・情報の提供	図書館 産業政策課 商工振興課 農林生産流通課
			61	学習情報提供事業・学習相談事業の充実	生涯学習課(図書館)
			再掲	社会教育主事の養成・活躍促進	生涯学習課

「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画 後期計画」の計上事業一覧

参考1

基本目標	施策	No	重点	新規	事業名	事業の内容	担当課
【基本目標1】一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます	(施策1)	1	●		生涯学習センター等における学習機会の充実	すべての市民の主体的な学習活動を促進するため、市民ニーズや時事的テーマを捉え、様々な世代の学習意欲を高める多様な学習機会を提供する。	生涯学習課(図書館)
		2	●		デジタル技術を活用した学習、読書機会の充実	誰もが、いつでもどこでも学べる機会や環境の充実に向けて、YouTube、Zoom等を活用した講座の提供に加え、デジタル技術を活用した読書機会の充実、情報提供等に取り組む。	生涯学習課(図書館)
		3			健康づくりを支援する取組の充実	学習を通じた市民の健康づくりの支援に向けて、生活習慣の改善や運動に関する講座の開催、介護予防に取り組む自主グループの活動支援などに取り組む。	生涯学習課(図書館) 高齢福祉課
		4			宇都宮市民大学の充実	市民が学んだ成果を地域等に還元し、地域社会の活性化や持続的発展を図るため、高度で専門的な学習ニーズに応える学習機会を提供する。	生涯学習課
		5			生活課題解決型講座の充実	市民が学習を通して自らの生活を改善し、より豊かな人生を送ることができるよう、具体的かつ身近な生活課題の解決に資する講座を実施する。	生涯学習課(図書館)
		6			読書活動の充実	市民の誰もが生涯にわたり読書活動に親しむことができるよう、気軽にかつ快適に図書館を利用することができる読書環境の充実や、読書意欲を喚起する事業に取り組んでいく。	図書館
		7			子どもの読書活動の推進	「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、すべての子どもたちが、自ら読書活動に親しむことができるよう、「うつつのみや子ども賞」事業など、子どもの読書習慣を育む機会の充実を図るとともに、読書の重要性の発信に取り組む。	図書館
	(施策2)	8	●		コミュニケーション力向上学習の推進	日常生活や地域、職場など、様々な場所で誰とでも良好な人間関係を築き、協働できる力を育むため、多様な人とのグループワークや意見交換などを通じたコミュニケーション力の向上に資する学習機会の充実を図る。	生涯学習課
		9		●	情報教育の推進	進歩するデジタル技術の恩恵を誰もが享受し、活用していくことができるよう、情報機器を使えない人などのデジタルデバイドに対応する学習や、情報ソフトの操作、情報モラルの育成など、社会で求められる能力を身につけられる学習機会の充実を図る。	生涯学習課(視聴覚L) SSC推進室 みんなでまちづくり課
		10			学び直しの支援	スキルアップや再就職等に向けた学び直しを支援するため、大学等の高等教育機関が実施する公開講座等の情報提供を行うほか、高等教育機関と連携し、社会人や高齢者等の学び直しの機会の拡充を図る。また、不登校経験者や外国人など、十分な学力を身につけられなかった人の学び直しについても、支援等を検討する。	生涯学習(図書館) 教育企画課
		11			大学生等の参加による多世代交流の推進	社会性の向上や地域共生の意識を育むため、関係機関や大学、地域団体等と連携し、子どもの体験活動などを通して、子ども、大学生等の若者、地域の大人など多世代が交流する機会を創出する。	生涯学習課(図書館)
		12			子どもの体験活動・体験学習機会の充実	職業観の醸成と将来の自己のあり方を見つめるきっかけを提供するため、商店街等の実際の店舗において職業体験を行う「キッズみや」に加え、新たに実施エリアを市内全域とし、実施時期を通年とする体験活動を行い、体験機会の確保に取り組んでいく。	子ども未来課 生涯学習課(図書館)
		13			人づくり啓発事業の実施	市民一人ひとりの人づくりに対する意識の高揚を図り、人間力の高い、心豊かでたくましい人づくりを推進するため、学校・家庭・地域等に対する「宮っ子の誓い」及び「子どもの手本となる50の言葉」の普及啓発や人づくりフォーラムの実施など人づくりの啓発事業を行う。	教育企画課
	(施策3)	再(9)	●	●	情報教育の推進	進歩するデジタル技術の恩恵を誰もが享受し、活用していくことができるよう、情報機器を使えない人などのデジタルデバイドに対応する学習や、情報ソフトの操作、情報モラルの育成など、社会で求められる能力を身につけられる学習機会の充実を図る。	生涯学習課(視聴覚L) SSC推進室 みんなでまちづくり課
		14		●	「うつつのみやデジタルスクエア」の運営	地域活動団体等のデジタルへの興味・関心を高めるとともに、デジタルの活用に向けて一歩踏み出せる場、デジタル化に係る交流を生み出す場として「うつつのみやデジタルスクエア」(WEBサイト)の運営やセミナーの開催、対面支援に取り組む。	SSC推進室
		15		●	環境学習の推進	「もったいない」のこのころをもって主体的な環境活動の促進を図るため、幅広い年代に対する学習機会と場の提供に取り組む。	環境政策課
		16		●	障がい者の文化・スポーツ講座事業の充実	障がい者の社会参加を促進し、障がい者の福祉の増進に寄与するため、教養、文化及びスポーツに関する各種講座を開催する。	障がい福祉課 生涯学習課
		再(10)			学び直しの支援	スキルアップや再就職等に向けた学び直しを支援するため、大学等の高等教育機関が実施する公開講座等の情報提供を行うほか、高等教育機関と連携し、社会人や高齢者等の学び直しの機会の拡充を図る。また、不登校経験者や外国人など、十分な学力を身につけられなかった人の学び直しについても、支援等を検討する。	生涯学習(図書館) 教育企画課
		17			様々な困難を有する人の学習活動への支援	高齢者や障がいのある人、経済的・家庭的な困難を有する人など、学習活動に参加することが困難なあらゆる人々への学びの機会や場を提供する。	生涯学習課(図書館)
		18			人権教育の推進	市民一人ひとりの人権意識を高めるため、ヘイトスピーチやLGBT、虐待等、特定の人権問題から、思いやりの心を育む人権一般まで、イベントや講座等を通じた意識啓発に取り組む。	生涯学習課 男女共同参画課
		19			超高齢社会に対応した学習の推進	高齢者が様々なサービス等を利用し、安心して暮らせるよう、介護保険や医療制度など、高齢者が必要とするサービスや、知っているに役に立つ新しい情報などについて、各種講座や講演会を開催する。	生涯学習課(図書館) 高齢福祉課
		20			多文化共生に向けた教育の推進	言葉や生活習慣の違いなど互いの文化的違いを認め合い、地域の一員として共に生き、共に支え合う意識を醸成するため、国際交流や多文化共生に関する学習機会の提供を推進する。	生涯学習課(図書館) 国際交流プラザ
21			外国人住民の生涯学習の推進	外国人住民が地域で学び、多様な人と交流しながら、地域社会に参加するきっかけを創出するため、外国人住民を対象とした講座や、多言語表記等により外国人も参加できる一般市民向けの講座を実施する。	生涯学習課(図書館) 国際交流プラザ		
22			ワーク・ライフ・バランスの理解に向けた啓発事業の実施	働き方の見直しや家庭・地域への参画促進のため、仕事と育児・介護等の両立や男性の家庭参画、女性リーダー養成など講座の充実を図るなど、仕事と生活の調和に向けた普及啓発を行う。	男女共同参画課		

基本目標	施策	No	重点	新規	事業名	事業の内容	担当課
【基本目標2】地域・学校・家庭が相互に連携し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます (施策4)	家庭教育支援の充実	23	●		「親学」の推進	家庭の教育力の向上を図るため、保護者が集まる機会を捉えた親学に関する講話等の実施や情報誌の発行などに取り組む。	生涯学習課
		24	●	●	家庭での読書習慣を育む取組の充実	家庭での読書習慣を育み、子どもが継続的に本に親しむきっかけづくりのため、集団健診時のブックリスト配布や生涯学習センターを含めた読み聞かせ、保護者のグループや育児サークルを対象とした出前講座等の事業の充実を図る。	図書館
		25			家庭教育支援活動者の育成	社会全体で子育て中の親を支える取組の充実を図るため、地域においてきめ細かな支援を行う家庭教育支援活動者を育成する。	生涯学習課
		26			アウトリーチ型家庭教育支援の推進	地域ぐるみで親子の育ちを支え、家庭の教育力の向上を図るため、関係部署との連携やイベントでの相談ブースの設置などによるきめ細かな家庭教育支援に取り組む。	生涯学習課 子ども家庭課
		27			家庭教育支援講座の充実	子育て家庭の家庭教育に対する意識の高揚を図るとともに、親力の向上を図るため、保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座などについて、地域で育成した人材を活用し、充実を図る。	生涯学習課(図書館)
	地域ぐるみによる教育活動の充実 (施策5)	28	●		魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実	地域の実情に応じて「魅力ある学校づくり地域協議会」が活動を円滑に実施するため、地域学校協働活動推進員の育成や「魅力ある学校づくり地域協議会」の組織強化・活動支援に取り組む。	生涯学習課 学校教育課
		29			宮っ子ステーション事業の充実	放課後における児童の健やかな育成のため、「子どもの家」と「放課後子ども教室」を一体的に実施し、地域、学校等と連携して、児童の安全安心な居場所を創出する宮っ子ステーション事業の充実を図る。	生涯学習課
		30			地域における学習支援活動の推進	地域の中学生の学習習慣の定着のため、「魅力ある学校づくり地域協議会」が地域のニーズに応じて自主的に取り組む学習支援活動「地域未来塾」を支援する。	生涯学習課
		31		●	学校図書館と連携した読書環境の充実	小中学校での子どもの読書活動や学習活動を支援するため、学校図書館と連携し、授業に役立つ資料や情報の提供、学校図書館職員やボランティアの育成・支援に取り組み、子どもの読書環境の充実を図る。	図書館 学校教育課
		32		●	「地域未来会議」の推進	将来、多様な人々と協働して課題解決していくことができる資質・能力を育むため、各中学校において、生徒が地域の方々と議論する「地域未来会議」に取り組む。	学校教育課
		33			「街の先生」活動事業の推進	学校における様々な教育活動等に地域の教育力を生かした教育を実践するため、各学校が教育活動のねらいに即して登録者リストの中から支援等を要する活動内容に適した者を選び、「街の先生」として活用する。	学校教育課
		34			子育てサロンの推進	地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、子育ての相談指導・育児不安の解消など、地域における子育て家庭に対する支援を推進する。	保育課
	再(13)			人づくり啓発事業の実施	市民一人ひとりの人づくりに対する意識の高揚を図り、人間力の高い、心豊かでたくましい人づくりを推進するため、学校・家庭・地域等に対する「宮っ子の誓い」及び「子どもの手本となる50の言葉」の普及啓発や人づくりフォーラムの実施などの人づくりの啓発事業を行う。	教育企画課	

基本目標	施策	No	重点	新規	事業名	事業の内容	担当課
【基本目標3】多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています	(施策6)	35	●		NPO・大学・企業等と連携した学習の推進	学習者の学習成果を活用する場の拡大に向け、企業・団体等の持つ最新技術や情報、ノウハウなどを生かした学習を通して、企業・団体等と地域や学習者の結びつく機会の創出を図る。	生涯学習課(図書館)
		36			社会教育関係団体との連携	地域における様々な教育活動を活性化するため、地域の社会教育活動の牽引役である社会教育関係団体との意見交換や共催事業の実施など緊密な連携を図る。	生涯学習課(図書館)
		再(16)		●	環境学習の推進	「もったいない」のころをもつて主体的な環境活動の促進を図るため、幅広い年代に対する学習機会と場の提供に取り組む。	環境政策課
		37			高齢者の生きがいがづくりの推進	高齢者が心身ともに健康で充実した高齢期を過ごすことができるよう、生涯学習センターや老人福祉センターにおいて、健康や趣味の講座の開催、看護師による健康相談などを実施する。	高齢福祉課 生涯学習課
		38			みやシニア活動センター事業の実施	豊富な知識や経験を持つシニア世代が一層活躍できるよう、相談窓口の開設や各種講座や交流会を企画実施するなど、第二の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援する。	高齢福祉課
		39			地域スポーツクラブの育成支援	子どもから高齢者まで、市民の誰もが、競技レベルや目的などに応じて、継続してスポーツに親しむことができるよう、地域住民が主体的に運営し、市民の健康づくりや生きがいがづくりに寄与する地域スポーツクラブの設立・運営を支援する。	スポーツ振興課
	(施策7)	40	●	●	地域の教育活動の担い手の育成	地域で子どもを育む教育活動の充実に向けて、活動の中核を担うコーディネーターを育成・支援するプログラムの実施や、学んだ成果を地域の教育活動へと生かしていくための仕組みづくりに取り組む。	生涯学習課
		41		●	まちづくりに携わる人材の育成	学んだ人がその成果を地域で発揮し、地域コミュニティの活性化へと結びつくよう、まちづくりセンターや生涯学習センター等において、地域活動やNPO活動などについて学ぶ講座、地域で情報機器の操作を教える「宮デジサポーター」を育成する講座等を実施するとともに、実際に地域における活動にまでつなぐ仕組みづくりに取り組む。	生涯学習課 みんなでまちづくり課 SSC推進室
		42		●	読書活動を支援するボランティアの育成	読み聞かせや障がい者サービス等読書推進に関わるボランティアを確保するため、研修会等を行い人材の育成に取り組む。	図書館
		43		●	若者ボランティア認定制度	将来的な地域の担い手として育成を図るため、大学生など若い世代によるボランティア活動を、一定の基準の下に「みやのまち活担い隊(仮称)」として認定することにより、ボランティア活動の促進に取り組む。	みんなでまちづくり課
		44		●	障がい者の意思疎通を支援する人材の育成	障がい者の円滑なコミュニケーションを支援し、的確に情報を取得・伝達できるよう、音訳、点訳、手話奉仕員などの養成に取り組む。	障がい福祉課
		再(10)			学び直しの支援	スキルアップや再就職等に向けた学び直しを支援するため、大学等の高等教育機関が実施する公開講座等の情報提供を行うほか、高等教育機関と連携し、社会人や高齢者等の学び直しの機会の拡充を図る。また、不登校経験者や外国人など、十分な学力を身につけられなかった人の学び直しについても、支援等を検討する。	生涯学習課(図書館) 教育企画課
		再(26)			家庭教育支援活動者の育成	社会全体で子育て中の親を支える取組の充実を図るため、地域においてきめ細かな支援を行う家庭教育支援活動者を育成する。	生涯学習課
		45			子どもの体験活動指導者の育成	地域の教育力向上を図るため、地域で子どもと関わる地域活動の実践者等を対象とした、体験活動に関する知識や技術の習得に資する講座等を通して、子どもの体験活動指導者を育成する。	生涯学習課
		46			社会教育主事の養成・活躍促進	市民の学習活動の推進や、学校・家庭・地域の連携促進のため、大学と連携した養成事業を実施するとともに、各生涯学習センター等における地域との連携窓口として中心的な役割を担うなど、活用促進を図る。	生涯学習課
		47			講座企画・運営ボランティアスタッフの育成	各生涯学習センター等において、地域の実態を踏まえた講座を実施するため、講座の企画立案から、広報・実施までを行う人材を育成する。	生涯学習課
	(施策8)	48	●		地域学・宇都宮学講座等の充実	郷土愛や住民意識を醸成し、地域づくりやまちづくりの取組を促進するきっかけとするため、全ての市民が地域課題や魅力を発見・共有する「地域学」、本市独自に創設した、宇都宮の歴史や文化を知る「宇都宮学」講座等を実施する。	生涯学習課(図書館) みんなでまちづくり課
		49			地域かがやきプロジェクト事業の推進	地域課題等について地域住民が改めて考え、取り組むきっかけをつくるため、地域学などとの連携を図りながら、地域での「学習」と「活動」の循環を意識した講座を実施する。	生涯学習課
		50			「二十歳を祝う成人のつどい」における地域交流事業の推進	二十歳の門出を地域を上げて祝い励ますとともに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちを持てるようにするため、地域の特性を活かした教育的意義のある地域交流事業を実施する。	生涯学習課
		51		●	地域資料の収集・提供事業の推進	地域の歴史・文化を次世代に伝えるため、地域資料の収集・保存・提供に取り組むとともに、貴重な資料をデジタル化し、データベースとしてインターネット公開を進める。	図書館 視聴覚ライブラリー
		52			歴史文化資源周知啓発事業の推進	平成30年1月策定の「宇都宮市歴史文化基本構想」で定めた、「みんなでつなぐ 歴史文化の息づく交流都市 宇都宮」の実現を目指し、「第2次宇都宮市文化振興基本計画」で掲げた「宇都宮文化の創造・継承」、「文化の力を活かしたまちづくり」を推進するための事業として、民間及び関係部署等と連携し感染症対策を実施しながら市民の歴史文化への興味関心を高める取組を体系的に推進する。	文化課
		53			うつのみや伝統(ふるさと)文化継承事業の推進	市民が、本市の歴史や守り伝えられてきた民俗芸能・伝統行事等への理解を深め、郷土への誇りや愛着を醸成するため、宇都宮伝統文化連絡協議会と連携しながら、「ふるさと料理教室」「民話の集い」「伝統文化講座」「宮の祭り見学会」などの事業に取り組む。	文化課

基本目標	施策	No	重点	新規	事業名	事業の内容	担当課
【基本目標4】学習活動や学んだ成果を生かした活動に、持続的に取り組める学習環境が整っています	(施策9)	54	●	●	生涯学習センター施設、図書館施設の利用促進	市民や団体の学習・活動の活性化に向けて、生涯学習センターや図書館における部屋の貸し出し等、場の提供をしていくとともに、利用のしやすさや利便性を向上させる環境整備に取り組むに取り組んでいく。	生涯学習課(図書館)
		55	●	●	視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)に基づき、障害の有無にかかわらず読書に親しめる環境を作るため、アクセシブルな資料・情報の作成・収集・提供や、障害の種類・程度に合わせた円滑な利用を支援する取組の充実を図る。	図書館
		56		●	センター図書室等における図書サービスの充実	市民の多様化・複雑化するニーズに対応するため、地域性や利用者層を考慮したサービスの提供や各センター等での開催事業のテーマに合わせた資料の展示等を行い利用促進を図る。	生涯学習課(図書館)
		57			学習成果を発表する機会の充実	活動を通して、学習へのやりがいや達成感を創出し、市民の「学習と活動の循環」を促すため、講座を開催したい市民への開催支援や、文化祭等の開催による学習成果を発表する機会の充実に取り組む。	生涯学習課(図書館)
		58			社会教育施設の利用促進	市民が安全・快適に施設を利用できるよう、施設・設備の機能向上に向けた計画的な改修を行うとともに、施設の老朽化等に伴う今後のあり方などを整理していくとともに、効果的・効率的な運営体制の充実を図る。	生涯学習課(図書館)
		再(1)			生涯学習センター等における学習機会の充実	すべての市民の主体的な学習活動を促進するため、市民ニーズや時事的テーマを捉え、様々な世代の学習意欲を高める多様な学習機会を提供する。	生涯学習課(図書館)
		再(2)			デジタル技術を活用した学習、読書機会の充実	誰もが、いつでもどこでも学べる機会や環境の充実に向けて、YouTube、Zoom等を活用した講座の提供に加え、デジタル技術を活用した読書機会の充実、情報提供等に取り組む。	生涯学習課(図書館)
	(施策10)	59	●		図書館レファレンスサービスの利用促進	市民や地域の課題解決を支援するため、有用な資料の収集や、調べものに役立つパスファインダー・ブックリストの提供、レファレンス事例の公開等、レファレンス機能の強化に取り組み、利用促進を図る。	図書館
		再(51)		●	地域資料の収集・提供事業の推進	地域の歴史・文化を次世代に伝えるため、地域資料の収集・保存・提供に取り組むとともに、貴重な資料をデジタル化し、データベースとしてインターネット公開していく。	図書館 視聴覚ライブラリー
		60		●	ビジネス活動に必要な資料・情報の提供	本市の産業の創出と中小企業の活性化を図るため、関係機関等と連携し、ビジネスに関する資料や情報の収集・提供や事業を実施し、ビジネス支援サービスを行う。	図書館 産業政策課 商工振興課 農林生産流通課
		61			学習情報提供事業・学習相談事業の充実	市民一人ひとりの主体的な学習活動を支援するため、生涯学習情報提供システムへの登録情報に団体・サークルや講師等のほか読書に関する情報を加え、多様な学習情報の積極的な情報発信に取り組む。	生涯学習課(図書館)
		再(46)			社会教育主事の養成・活躍促進	市民の学習活動の推進や、学校・家庭・地域の連携促進のため、大学と連携した養成事業を実施するとともに、各生涯学習センター等における地域との連携窓口として中心的な役割を担うなど、活用促進を図る。	生涯学習課

「(仮称) 第3次宇都宮市地域教育推進後期計画」策定に向けた課題について

参考2

1 地域教育を取り巻く状況

【社会情勢の変化】

- (1) 少子化, 人口減少
- (2) 人生100年時代の到来
- (3) ウィズコロナへの転換
- (4) 社会全体のデジタル化
- (5) 加速するグローバル化
- (6) 家族形態, 子育て環境の変容
- (7) 若者の社会参画の促進
- (8) 産業構造の変化, 雇用形態の多様化
- (9) 地域における人のつながりの希薄化
- (10) 社会的包摂の実現
- (11) 自然環境の変化, 自然災害の頻発

【国・県の動向】

○ 第3期教育振興基本計画 (H30.3月)

- ・家庭教育支援員となる人材育成や訪問型家庭教育支援の充実
- ・グローバルに活躍する人材の育成
- ・障がい者の生涯学習の推進
- ・学びのセーフティネットの構築

○ 「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」(H30.12月)

- ・社会教育を基盤とした「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」
- ・多様な人材の幅広い活躍の推進
- ・多様な主体との連携強化
- ・社会教育施設の機能の一層の強化

○ 第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理 (R2.9月)

- ・困難を抱える人たちの学習機会の拡充
- ・「命を守る」生涯学習の推進
- ・マルチステージの人生での学びの充実
- ・デジタルデバイドの解消
- ・「オンライン」と「対面」の学びの組み合わせ
- ・リカレント教育の推進
- ・子ども, 若者の地域・社会への参画, 多世代交流

○ コミュニティ・スクールのあり方等に関する検討会議最終まとめ (R4.3月)

- ・すべての学校へのコミュニティ・スクールの導入促進
- ・地域との連携, 協働により, 対話と信頼に基づく学校運営の実現

○ 栃木県生涯学習推進計画 (R3.3月)

- ・「とちぎの生涯学習」の3つの方向性
 - ①「自立」(人生を切り開く), ②「協働」(多様な主体の連携・協働)
 - ③「創造」(ふるさとへの愛着を育み, 地域の持続的発展を図る)
- ・基盤: 学びを支える環境づくり, 多様なライフスタイルに対応した情報提供・相談体制, コーディネート機能の充実, 施設の機能充実

【社会教育委員の会議からの提言】(令和3年5月)

進めるべき取組

「学習方法」: (1)参加交流型学習, (2)体験活動・体験型学習, (3)多様な主体と連携した学習, (4)ICTを活用した学習

「学習内容」:

- ①心身の健康, ②防犯意識の醸成, ③家庭教育の意識の醸成, ④人権教育, ⑤キャリア教育・リカレント教育, ⑥情報教育, ⑦地域理解の促進や郷土愛の醸成, ⑧環境理解・環境保護と災害等への危機管理能力の向上

【国・県の動向】(読書関係)

○ 子供の読書活動の推進に関する基本的な計画 (H30.4月)

- ・福祉部局, 学校, 民間団体などとの連携, 協力
- ・家庭における読書を支援する取組の推進
- ・各発達段階に応じた読書活動の推進
- ・障がい児のための環境整備

○ 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画 (R2.7月)

- ・アクセシブルな電子書籍等の普及及び書籍の継続的な提供
- ・アクセシブルな書籍等の量的拡充, 質の向上
- ・障がいの種類・程度に応じた配慮

○ 著作権法の一部を改正する法律 (R3年)

- ・図書館関係の権利制限規定の見直し
- ・放送番組のインターネット同時配信等に係る権利処理の円滑化

○ 栃木県子どもの読書活動推進計画 (H31.3月)

- ・子どもの発達の段階に応じた取組の推進 など

【本市の第6次宇都宮市総合計画改定の方向性】

- (1)スーパースマートシティを支える「NCC」
- (2)スーパースマートシティを構成する「3つの社会」
 - ・絆を深め, 共に支え合う「地域共生社会」
 - ・誰もが活躍し, 様々なモノが交流する「地域経済循環社会」
 - ・未来への責任を果たす「脱炭素社会」
- (3)スーパースマートシティの実現に向けた原動力「人」づくり, 「デジタル」の積極的な活用

2 本市の地域教育の状況

第3次宇都宮市地域教育推進計画前期計画

【基本目標1】の課題

ICT等を活用した学習環境の充実を図るとともに, 交流機会や体験活動ができる機会等, 市民の学習意欲を喚起・向上させる学習機会の充実, 課題解決に取り組む人材育成や, 学習や活動の相談・情報提供機能の充実が必要

【基本目標2】の課題

幅広く, きめ細かな家庭教育支援に向けた取組の充実とともに, ウィズコロナにおいても地域全体で子どもたちの育ちを支える意識の高揚, 教育活動の活性化に向けた支援の強化が必要

【基本目標3】の課題

多様な主体と連携し, 市民の学んだ成果を活動へとつなげられる仕組みの充実や, これからの地域社会を支える人材の育成, 市民の学習や活動を支える相談・情報提供機能の強化が必要

第2次宇都宮市読書活動推進計画

【基本目標I】の課題

図書館機能の充実や市民の読書意欲の維持・促進に取り組んでいるが, 市民ニーズ・状況に応じた資料の充実や読書環境づくりが必要

【基本目標II】の課題

子どもの読書活動を促進しているが, 読み聞かせの重要性を伝える取組や, 中高生が図書館や読書に親しむ機会創出の取組が必要

【基本目標III】の課題

資料・情報の収集やレファレンス事例公開など市民に役立つ資料・情報の充実に取り組んでいるが, レファレンスの認知度向上や実施方法の工夫, 課題に対応した資料・情報の収集・提供が必要

【基本目標IV】の課題

図書館を場とした交流機会の創出などに取り組んできたが, ウィズコロナに即した市民の活躍の場の創出や交流方法の検討が必要

市民意識調査結果 (抜粋)

【生涯学習】学習や活動をしている市民の割合

・「している」(H28)38.3%⇒(R3)23.9% ▲14.4%

学習情報等を得る方法は, 「SNS」が増加, 紙媒体は減少。65歳以上は, 「地域の人」「回覧板」が多い。

【家庭教育】家庭の教育力が低下していると思う市民の割合

・「思う」(H28)42.1%⇒(R3)30.4% ▲11.7%

家庭教育で特に問題になっていると思うことは, 「過保護・過干渉な親の増加」が4割近くと多い。

【地域のこゝろ】地域の教育力の状況をどう思うか

・「わからない」(H28)30.1%⇒(R3)36.7% +6.6%

・「低下している」(H28)41.3%⇒(R3)39.2% ▲2.1%

・「向上している」(H28)12.7%⇒(R3)11.1% ▲1.6%

「低下している」と答えた理由は, 「近所の人々が親交を深められる機会の不足」(54.5%)が多い。

【人づくり全般】学び直したいと思う分野について

・「人文科学」37.3%, 「芸術」28.5%

・「学び直したい分野は特になし」21.2% など

8割近くは何かしらを学び直したい希望がある

【読書活動・調べもの】最近1年間の読書をする時の媒体

・「紙の本のみ」(H28)66.4%⇒(R3)48.7% ▲17.7%

・「紙と電子書籍」(H28)13.5%⇒(R3)24.7% +11.2%

55歳以上では「紙の本のみ」が50%以上。54歳以下では「紙と電子書籍」が30~40%ほど多い。

【図書館】最近1年間で図書館や図書室を利用した人の割合

・「利用した」(H28)38.7%⇒(R3)28.9% ▲9.8%

・「過去に利用した」(H28)19.9%⇒(R3)31.2% +11.3%

⇒(図書館に望むこと)「読みたい本が豊富」「調べたいことを聞ける」「大きな文字, 点字・声の図書がある」など。

3 策定に向けた課題

【基本目標①】市民一人ひとりが主体的に学習活動に取り組んでいます

- ・デジタルトランスフォーメーションなど, さらに高度な情報化が進む中, 新しい技術を活用した学習やつながりづくり等の検討が必要
- ・様々な困難を抱える人達への学習機会の充実とともに, 学び直しや社会の変化に対応した学習など, これからの社会を支える人材の育成に向けて, 多様な分野が連携・協力しながら学習機会を創出していくことが必要
- ・市民の学ぶ意欲を引き出せるよう, 地域や世代ごとの市民ニーズを捉え, 内容や実施方法を工夫した学習機会の提供, 読書活動の推進, 図書館サービスの充実などを図っていくことが必要

【基本目標②】地域・学校・家庭が連携・協力し, 地域全体で教育活動に取り組んでいます

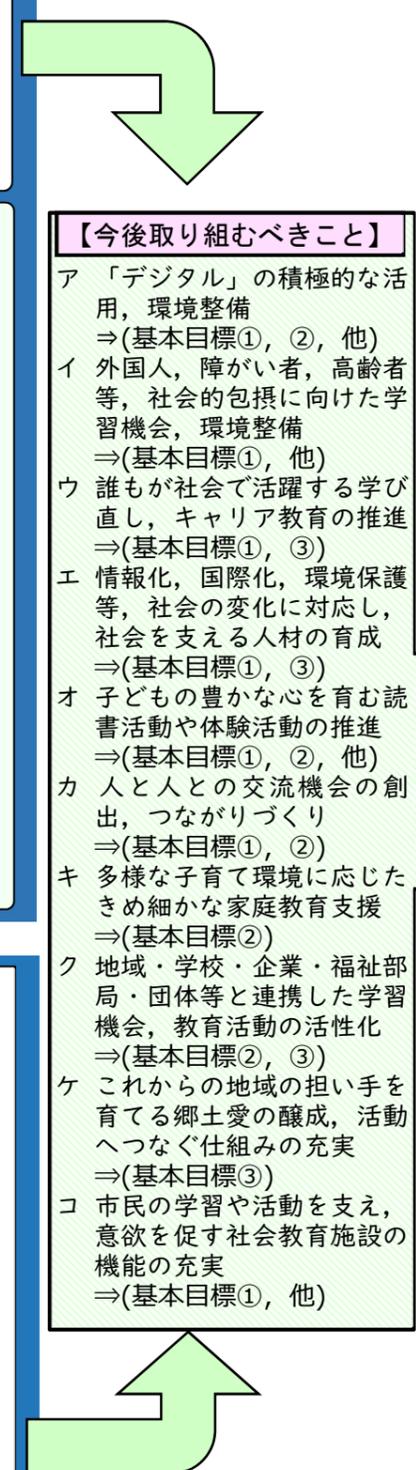
- ・子育て家庭に対し, 悩みの解決や仲間づくり, 気づきを促す学習機会の提供, 読書や読み聞かせの重要性を伝える取組等とともに, アウトリーチの手法やICTを活用し, 個別具体的にきめ細かい家庭教育支援に取り組んでいくことが必要
- ・魅力ある学校づくり地域協議会については, コミュニティ・スクールの課題や必要性を精査しながら, 各協議会の活動の充実を図ることが必要
- ・コロナ禍においても, 地域住民や様々な主体が連携・協働して子どもたちの多様な体験活動の機会を創出するなど, 地域ぐるみで子どもの豊かな心の育成を図る意識の高揚, 活動の充実が必要

【基本目標③】多様な主体や人がつながりを深め, 学んだ成果を生かして活動しています

- ・社会の激しい変化に伴い, 様々な分野で多様化・複雑化する課題の解決に向けて, 指導者やボランティアとなり活躍できる人材の育成が必要
- ・再就職を望む高齢者や産後女性, 転職を望む就労世代などが, 求める能力を身につけることができるよう, 高等教育機関や企業等と連携し, 高度な学習の場へとつなぐ取組の充実が必要
- ・地域を支える人材の育成に向け, 地域住民の地域理解を促す取組, 活動を促す取組を進めるとともに, 未来の地域社会, 地域経済を支える子ども・若者への郷土愛等を育む取組の充実が必要

【その他】市民の主体的な学習や活動を支え, 促す, 生涯学習推進の基盤づくり

- ・図書館における誰もが利用しやすいバリアフリー環境の整備や資料の充実, ICTの活用等による読書環境の充実に取り組んでいくことが必要
- ・市民の学習と活動の場となる生涯学習センター等において, ICTへの対応や多言語表記など, 時代の変化や地域の特性に応じて, 誰もが利用しやすい, 利用を促す環境整備が必要
- ・図書館におけるレファレンスサービス, 生涯学習センターにおける学習相談など, 市民の学習等における課題を解決へと導く相談機能の認知度向上, サービスの充実を図ることが必要



1 対象者および事業の名称

民法改正に伴い、本年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市においては、成年年齢引き下げ後においても、成人式事業の対象年齢を20歳とし、その節目を祝い、成人が決意を新たに集まる機会として「二十歳を祝う成人のつどい」と名称を変更し、式典を実施する。

2 開催日時および内容

これまで好評を得ている成人式事業を基本としつつ、参加する成人の郷土愛や地域の一員としての自覚を思い返す機会となるよう取り組んでいく。

【開催日】

- ・「成人の日」の前日の日曜日
⇒ 令和5年1月8日（日）

【開催時間】

- ・午前開催（10:00～12:00）
14中学校区／旭・陽南・星が丘・陽東・宮の原・瑞穂野・豊郷・晃陽・姿川・
雀宮・鬼怒・上河内・古里・河内中学校区
- ・午後開催（14:00～16:00）
11中学校区／一条・陽北・陽西・泉が丘・清原・横川・国本・城山・宝木・
若松原・田原中学校区

【開催内容】

ア 式典（約20分間）

「激励のことば」（市長）、「お祝いのことば」（市議会議長）、
「誓いのことば」（参加者の成人代表） など

※来賓については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、極力少人数とする。

イ 地域交流事業（式典終了後～）

3 開催会場

25中学校区ごとの会場（ホテル・結婚式場等 9施設25会場）

裏面参照

4 出席者推計

- ・卒業生数（平成29年度中学校卒業生数）
4,929人
- ・推定出席者数（各中学校卒業生数×各中学校区の過去3年平均出席率）の累計
4,002人

5 運営体制

- ・実施委員会
中学校区ごとに実施委員会を組織し、成人式の企画運営を行う。実施委員の構成は、当該中学校区内の新成人及び社会教育関係団体構成員等による（20名程度）
- ・事務局
各生涯学習センターが事務局を担う。

令和5年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどい 会場

裏面

開催日	令和5年1月8日(日曜日)	
開催時間	午前開催	午後開催
	受付	午後1時30分～2時
	式典等	午後2時～

中学校区など	卒業生数	推定出席者数	会場	
			午前開催	午後開催
一条中学校区	145	115		護国会館
陽北中学校区 栃木県立のざわ特別支援学校 栃木県立わかさ特別支援学校	215	173		ホテル東日本宇都宮
旭中学校区	158	118	護国会館	
陽南中学校区	270	219	宇都宮市文化会館	
陽西中学校区 作新学院中等部 宇都宮短期大学附属中学校 文星芸術大学附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校	427	342		ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東口交流拠点施設)
星が丘中学校区	257	211	ベルヴィ宇都宮	
陽東中学校区 宇都宮東高等学校附属中学校	390	314	ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東口交流拠点施設)	
泉が丘中学校区	226	180		ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東口交流拠点施設)
宮の原中学校区	233	188	ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東口交流拠点施設)	
清原中学校区 宇都宮海星女子学院中学校	251	196		東武ホテルグランデ
横川中学校区	168	147		ホテルニューイタヤ
瑞穂野中学校区	102	78	Cotoneau コトノー	
豊郷中学校区	191	166	ホテル東日本宇都宮	
国本中学校区	150	122		ホテル東日本宇都宮
城山中学校区	103	82		コンセーレ
晃陽中学校区 栃木県立富屋特別支援学校	80	83	ホテルニューイタヤ	
姿川中学校区	216	170	宇都宮市文化会館	
雀宮中学校区	184	152	ホテルニューイタヤ	
鬼怒中学校区	187	152	東武ホテルグランデ	
宝木中学校区 宇都宮大学教育学部附属中学校	289	229		ベルヴィ宇都宮
若松原中学校区	221	178		宇都宮市文化会館
上河内中学校区	86	74	ホテルマイステイズ宇都宮	
古里中学校区	147	118	ホテル東日本宇都宮	
田原中学校区	102	86		ホテル東日本宇都宮
河内中学校区 栃木県立岡本特別支援学校	131	109	ホテル東日本宇都宮	
合計	4,929	4,002		